

提案に当たって

神奈川県政の推進につきましては、日頃から格別のご支援を賜り、深く感謝申し上げます。

現在、我が国の景気は、今般の新型コロナウイルスの影響により、急速な悪化が続いており、県民の生活や医療機関をはじめとする県内経済は極めて厳しい状況にあります。

こうした中、今後、「WITH・コロナ」の社会においては「医療体制の維持」と「経済活動の再開」について、両者のバランスを取り、両立させていく必要があります。

本県では全国に先駆けて、新型コロナウイルスの感染拡大に対応するための緊急医療体制「神奈川モデル」を構築したほか、事業者向けには「感染防止対策取組書」を作成するなど、「WITH・コロナ」時代に対応した新たな社会経済モデルへの転換に向け、動き始めています。

併せて、このような新たな施策の展開も可能とする財政基盤を確立するため、これまでも人件費の抑制や県債の発行抑制など財政健全化に取り組んできたところですが、義務的経費が8割を超える硬直化した財政構造は改善しておらず、山積する政策課題に的確に対応し、将来にわたって持続可能な財政運営を行っていくためには、地方税財政制度の抜本的な改革が不可欠です。

こうした厳しい状況の下、本県の政策を一層推進するためには、国による施策・制度の改革が必要なものが少なくありません。

そこで、国の施策・制度・予算に関する提案をとりまとめましたので、是非、ご理解をいただき、令和3年度の予算編成及び施策の展開に当たり、特段のご配慮とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

令和2年6月

神奈川県知事 高岩祐治